



昭和47年12月20日発行の市報こだいら第249号より抜粋

不発弾処理無事終る

積極的な協力に支えられ

小川町2丁目

爆発の危険なくなり避難不要に



昭和47年12月20日発行の市報こだいら第249号より抜粋



不発弾に対する認識と処理の考え方について

石毛航太郎議員(フォーラム小平)

不発弾に対する認識と処理の考え方について

質問 ①第二次世界大戦中の小平町に幾度も空襲があり、市内でも過去には不発弾が発見され処理されたことが、小平市30年史に記載されている。市内で撤去された不発弾はどれくらいあるか、また処理の費用は誰が負担したか。

②市内に不発弾がどれくらい残っていると想定されるか。

③不発弾処理に要する費用負担についてどう考えているか。

市長 ①昭和47年度及び昭和48年度に合計5発、市が不発弾処理を行っている。処理の費用に



がん検診の受診率等の向上を女性活躍推進のため啓発推進を

津本裕子議員(市議会公明党)

いのちを守るがん検診の受診率の向上と精度を高めるために

質問 ①30代乳がん検診の実施について見解は。

②小・中学生へのがん教育が非常に重要だが、実施状況は。

市長 ①近年、若年者の乳がん死亡事例が取り上げられていることは認識している。国の指針では対象が40歳以上だが、30歳代の検診についても視触診による検診を引き続き実施していく。

教育長 ②小平第十二小学校では26年度から学級担任と養護教諭が連携し、保健の授業でがん教育に取り組んでいる。今後も指導方法等の研究を進めていく。



医療費適正化財源で感染症予防/姉妹都市締結40周年小平町交流

虹川浩議員(市議会公明党)

医療費の適正化でロタウイルスワクチン助成等の実施を

質問 ①28年度乳幼児医療費助成制度のペナルティー金額は。

②ロタウイルス感染による市の経済的負担は。また半額助成、接種率50%とした場合コストは。

③公費助成のため30年度からの減額調整停止で確保される財源活用を検討すべきだが見解は。

市長 ①約1千60万円である。

②乳幼児5千人が通院治療費5万7千7百円と仮定すると2億5千4百万円。ゼロ歳児は1千6百17人でコストは1千万円から1千百万円と推定される。



小平市の防災機能をより高めるために/特別支援教育について

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

小平市の防災機能をより高めるために

質問 ①木造住宅密集地域現況調査の目的と調査場所は。

②通電火災防止の感震ブレーカー設置について市の認識は。

③雨水貯留タンク設置費用助成について見解は。

市長 ①震災時に延焼被害のおそれのある地域の課題解決手法等の検討が目的で、都の指標で抽出した7丁目を対象である。

②停電復旧後の通電による出火を防止し、被害を軽減する機会を捉え、PRに努めていく。

③災害時の生活用水としての使用と浸水被害の低減が期待される。



生物多様性地域戦略/主権在民の憲法にふさわしい道徳教育

橋本久雄議員(緑の党こだいら)

生物多様性地域戦略の策定は市民団体と協働で行うべき

質問 ①計画のスケジュールは。

②市民団体などの協議は。

③玉川上水は都の管理なので調査対象に入れないのか。

市長 ①次期の環境基本計画に位置づける必要があるが、スケジュールは決まっていない。

②豊かな自然環境と生き物との関連性に気づき、将来にわたって保全していくためには市民事業者・市との協働の取り組みが重要なので、さまざまな主体との協議を検討していく。



国連での核兵器禁止条約の採択の意義/高齢者の安心のために

木村まゆみ議員(日本共産党小平市議員団)

国連での核兵器禁止条約の採択を受け、今後の平和施策を問う

質問 ①国連での核兵器禁止条約採択の市の受けとめは。

②平和首長会議の確認事項は。

③先進市に学び、自ら発信する事業を実施すべきだがどうか。

市長 ①市民社会の諸団体、被爆者が核兵器廃絶のため活動を続けてきた成果と認識している。

②核兵器のない世界の実現と、安全で活力のある都市の実現に取り組みむことを掲げた平和首長会議行動計画が議決された。

③市民が自主的、自発的に行動を起こす活動を、引き続き側面的に支援していく。



再び、生活の基本である住まいの保障/道路や歩道の整備

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

再度、生活の基本である住まいを保障する

質問 ①単身高齢者、障害者、ひとり親、生活保護受給者のうち住宅確保要配慮者として把握している世帯数は。

②無料低額宿泊所の数と利用人数は。無料低額宿泊所入居の長期化が問題だが市の取り組みと見解は。

市長 ①単身高齢者、障害者、ひとり親については把握していない。生活保護受給者については27年度は二千三百世帯である。

②29年9月1日現在では2か所利用者は5人である。生活習慣が整っている利用者には希望

を確認しながらアパート等への転宅支援を行っている。

道路や歩道の整備について

質問 ①あかしあ通り歩道の路面のうねりの原因と対処は。

②ソーン30指定箇所について、取り組み実態と今後の展開は。

市長 ①二セアカシアの根上りにより生じる。市民まつり前の修繕や、街路樹の見直しに合わせて解消していく。

②標識や看板、路面標示を設置し、回田町等で整備している。小平警察署から、今後も地域の要望を踏まえて区域の指定を行っていくと聞いている。